

小倉薬剤師会 3月学術研修会のご案内

謹啓 先生方におかれましては 益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
さてこの度、下記の要領にて小倉薬剤師会学術研修会を開催いたします。
ご多忙中、誠に恐縮とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席頂きますようお願い申し上げます。

謹白

記

【日時】 2018年 3月 20日 (火) 19:00～

【場所】 小倉薬剤師会館 3階 研修室
北九州市小倉南区富士見2丁目8番20号

【情報提供】 19:00～19:15

『マヴィレット配合錠』について

アッヴィ合同会社

- 【PS】 1. ヒューマニズム (倫理) : ①-1・2・4
2. 医薬品の適正使用 (安全性、経済性) : ②-26～28、③-17

【特別講演】 19:15～20:15

座長 学術委員会 有吉 ちさと

『C型肝炎治療の進歩』

演者 独立行政法人 国立病院機構 小倉医療センター
肝臓病センター 部長

佐藤 丈顕 先生

<講演会要旨>

近年のC型肝炎に対する抗ウイルス療法の進歩には目覚ましいものがある。直接作用型抗ウイルス薬 (Direct Acting Antivirals, DAA) が次々に開発され、副作用の少ない経口剤で、高率にウイルスの排除が可能となっている。なかでも、昨年11月保険適応となったマヴィレット配合錠 (グレカプレビル/ピブレンタスビル) は、ジェノタイプに関わらず有効で、DAA治療歴のない慢性肝炎患者であれば、8週間で治療が完遂する。DAAの中でも究極の一剤と言える。日本のC型肝炎治療は最終章を迎える。

共催: (一社) 小倉薬剤師会
アッヴィ合同会社